

和東町での星空観測の取り組みが環境大臣賞を受賞！

令和3年12月4日及び5日、岡山県井原市において第33回「星空の街・あおぞらの街」全国大会（主催：環境省他）が開催され、長年、和東町で天体観測を通じて環境保全の大切さを伝える活動を続けておられる湊 善実（みなと よしみ）さんが「星空の街・あおぞらの街」全国協議会表彰「環境大臣賞」を受賞されました。



授賞式の様子

湊さんは、平成10年から20年以上にわたり、和東町教育委員会を通じて小学生を対象とした年複数回の天文教室を継続して開催し、星空観測における指導的な役割を果たしてこられました。

特に、平成30年4月に25年間の幕を閉じた加茂町プラネタリウム館では、平成12年から夜の観望会開催や山城中学校3年生を対象とした宇宙学習会などを開催するなどして天体観測教育を支援されました。

平成25年には、地域の星好きの仲間たちと一緒に「和東 星を楽しむ会」をつくり、和東町での月1回の観望会を継続しておられます。また、近年は、他府県から修学旅行で訪れる高校生に対しても農業体験「農泊」の一環として天体観測を行い、自然環境の大切さを感じてもらう活動も行っておられます。

星空観察の様子（「和東 星を楽しむ会」観望会）

